

THE JAPANESE JOURNAL FOR
THE HISTORY OF PHARMACY

薬史学雑誌

Vol. 60, No. 1.

2025

—目 次—

年会講演

- 平安の薫物“侍従”に配合される熟蘗金について……………木下 武司…… 1
がん患者を支えるために ～ がん哲学外来から ～ ……………樋野 興夫…… 6

誌上シンポジウム

- 血漿分画製剤の過去・現在・未来……………柚木 幹弘…… 11
サエラ薬局穴水店が地域に根差した薬局に成長するための道のりと、能登半島地震の
復興支援について……………宮本 啓悟…… 18
納豆の起源解明に向けた考古学的研究……………中山 誠二…… 22
乳酸菌の歴史とその機能の可能性……………山田 成臣…… 23
躍動する核酸医薬：試行錯誤の歴史を交えながら……………井上 貴雄…… 24

原 著

- 植民地朝鮮で発行された雑誌『京城薬報』について……………辻 大和…… 25
星田千代雄の記録—明治時代の大分県で近代病院薬学を实践した人物—……………五位野政彦…… 30
日本のアミノ酸系医薬品開発 50 年の変遷 (5) —コラーゲンの医療に関わる研究と
医療機器販売の経緯—……………荒井裕美子, 小倉 孝之, 山本 卓司, 松本 和男…… 40
日本薬局方に見られた向精神・神経薬の変遷 (その 32)
Passiflora quadrangularis の抗不安作用, 鎮静作用などの精神・神経作用についての
文献調査による知見, および GABA_A 受容体の関与についての考察……………柳沢 清久…… 48

雑 録

- 会務報告…………… 61

THE JAPANESE SOCIETY FOR THE HISTORY OF PHARMACY

c/o CAPJ, 4-16, Yayoi 2-chome,
Bunkyo-ku, Tokyo, 113-0032 Japan

薬史学誌

Jpn. J. History Pharm.

日本薬史学会

<https://plaza.umin.ac.jp/yakushi/>

